



東京神學大學

Tokyo Union Theological Seminary

2023年度

神学部神学科

一般選抜

編入学者選抜

学生募集要項

感染症、災害、不測の事態等により学生募集要項の内容を変更する場合があります。最新の情報については本学ホームページをご確認ください。

<https://www.tuts.ac.jp/>

〒181-0015 東京都三鷹市大沢3-10-30

Tel:0422-32-4185 Fax:0422-33-0667

Mail:tuts@tuts.ac.jp

◆ 東京神学大学の理念・目的（東京神学大学学則第3条に拠る）

東京神学大学は、学校教育法第83条に基づき、キリスト教神学を研究し、福音の宣教に従事する教役者を養成することを目的としています。そのために、その基礎となる、幅広い知識と専門知識を教授することを目指します。

同時に、キリスト教会のみならず、キリスト教学校やキリスト教施設等に専門的知識をもって仕えることができる信徒を養成することをも目指しています。

◆ 東京神学大学神学部神学科 3つのポリシー

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

本学部では、所定の単位を修得し、以下のような基準を満たしている学生に学士（神学）の学位が授与されます。

1. 伝道者となる最終的な学びと訓練の場としての博士課程前期課程（修士課程）に進学しうる確固とした召命感を身に付けている。
2. 神学の学びの意義を主体的に把握している。
3. 伝道者となる上での最低限の神学の知識および語学力を身に付けている。
4. 諸学問分野における最新の知識をキリスト教信仰の視点から理解し、身に付けている。
5. 教会実習の経験を通し、伝道者が現実に直面する諸課題・諸要求を理解している。

教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

本学部のカリキュラムは、キリスト教信仰および聖書についての初歩的な知識の修得、並びに諸学問分野の最新の知識および現代語（英語およびドイツ語）の修得から始まります。

この基礎を踏まえて、旧約聖書神学・新約聖書神学・組織神学・歴史神学・実践神学の各分野における基礎的な知識を徹底的に学びます。最終学年では、希望の専門分野における卒業論文を作成し、主体的な学習態度を身に付けます。

これらの学習と教会実習の経験を通じて、本学が目標とする博士課程前期課程（修士課程）に進学するための十分な準備をします。

入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

東京神学大学は、現代の教会に仕える伝道者、またキリスト教学校やキリスト教施設等に専門的知識を持って仕える者を養成するために、以下のような学生を求めます。

1. 召命を確信し、献身の姿勢が明確である者
 召命の確信を自分の言葉で言い表すことができる者
 献身の志と姿勢を有する者
 神学を学び福音を宣べ伝えようとする積極的意欲を有する者
2. 公同的な福音主義的信仰を告白する者
 基本信条や福音主義的信仰告白に言い表された基本的な信仰を自らの信仰として告白する者
 聖書が語り教会が宣べ伝えてきた福音を自分の言葉で説明することができる者
3. 主体的な信仰生活が身に付いている者
 主日礼拝を重んじ、忠実に信仰生活を歩んでいる者
 日々聖書を読んで祈る、祈りの生活が身に付いている者
 神と隣人とに仕える態度が身に付いている者
4. 基本的なコミュニケーション能力を身に付けており、伝道者としての人格の形成を望む者
 教会共同体において基本的なコミュニケーションをとることのできる者
 伝道者として福音を宣べ伝えるための姿勢と能力とを身に付ける意欲のある者
5. 高校卒業程度の基礎学力を有し、論理的思考ができる者
 どのような課題に対しても、自分の考えを日本語で論理的に説明することができる者
 英語で神学書を読むために、高校卒業程度の文法や語彙など、英語の基礎学力を有する者

神学研修志望者の受け入れについて

東京神学大学の使命は伝道者・牧師の養成、そのための神学の研鑽と教育にあります。さらに、近年の教会の実情と必要に応え、信徒として教会によく仕え、教会と社会に奉仕するために神学を学びたいという神学研修志望者も神学部神学科に若干名を迎えています。牧師・伝道者を志す神学生と共に学び、福音の伝道のために祈りと力を合わせる方が与えられることを願っています。詳細は「神学事始 -神学研修コースでの学びを通して-」を参照してください。

目 次

一般選抜.....	2
1. 出願資格	
2. 募集定員	
3. 試験日	
4. 試験会場.....	3
5. 選考方法	
編入学者選抜.....	4
1. 出願資格	
2. 募集定員	
3. 試験日	5
4. 試験会場	
5. 選考方法	
一般選抜・編入学者選抜 共通事項	6
1. 出願手続	
2. 受験票.....	7
3. 試験当日.....	8
4. 合格者発表	
5. 入学手続.....	9
6. 初年度学生納付金.....	10
7. 入学時奨学金.....	11
8. 英語実力試験	
9. 入学前教育	
10. 受験時および入学後に配慮が必要な場合	12
11. 筆記試験（小論文）	13
12. 単位認定.....	14

一 般 選 抜

1. 出願資格

次の(1)および(2)に該当する者。ただし、留学生等は(1)(2)および(3)に該当する者。

(1) 福音主義（プロテスタント）の教会に属し、洗礼（バプテスマ）を受けた後1年以上教会生活をしている者で、所属教会の推薦がある者。

(2) 次のいずれかに該当する者。

① 高等学校（外国の高等学校を含む）を卒業した者、または2023年3月卒業見込の者。

*ただし、外国の高等学校卒業もしくは卒業に準ずる資格を証明できない者は、本学出願時までに、独立行政法人日本学生支援機構主催の日本留学試験「日本語」および「総合学科」2科目の受験を課す。該当者は、2021年6月・11月または2022年6月・11月実施の日本留学試験における成績通知書および受験票のコピーを出願時に提出すること。

② 中等教育学校を卒業した者、または2023年3月卒業見込の者。

③ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の学校教育を修了した者を含む）、または2023年3月修了見込の者。

④ 高等専門学校の3年次を修了した者、または2023年3月に修了見込の者。

⑤ 専修学校の高等課程を修了した者、または2023年3月修了見込の者。

⑥ 高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定を含む）合格者、または2023年3月までに合格見込の者。

⑦ 学校教育法第90条、ならびに学校教育法施行規則第150条及び第154条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者、または2023年3月までにこれに該当する見込の者。

*学校教育法施行規則第150条第7号による個別の入学審査を希望する場合は、出願前に本学に問い合わせること。

(3) <留学生等※>日本語能力等に関して、次のいずれかに該当する者。

① 公益財団法人日本国際教育支援協会、独立行政法人国際交流基金主催の日本語能力試験のN1または1級合格者。

② 公益財団法人日本国際教育支援協会、独立行政法人国際交流基金主催の日本語能力試験のN1の2022年度受験者。

③ 学校教育法に定められている高等学校、中等教育学校、高等専門学校、専修学校高等課程、専修学校専門課程、短期大学または大学に在籍している者、あるいは在籍していた者。

※出願資格について不明な点は、出願前に本学に問い合わせること。

2. 募集定員

2月選抜	3月選抜
2名	2名

3. 試験日

2月選抜	3月選抜
2023年2月14日(火)	2023年3月7日(火)

※新型コロナウイルス感染症等による理由で試験当日やむを得ず欠席した場合は、振替試験・追試験申請手を完了し、本学が認めた場合に限り、振替試験・追試験を受験することができる。詳細は、受験票と共に通知する。

振替試験および追試験予定日

2月選抜の振替試験日	3月選抜の追試験日
2023年3月7日(火)	2023年3月14日(火)

ただし、新型コロナウイルス感染状況等によって変更する場合があります。

4. 試験会場

東京神学大学 (東京都三鷹市大沢3-10-30)

5. 選考方法

志願者について、本学のアドミッション・ポリシーに基づき、評価する。具体的には、出願書類(調査書等)と筆記試験により基礎学力を、面接と出願書類(私の信仰経歴、所属教会推薦書)により召命感、意欲、表現力、適性等をそれぞれ評価し、選抜する。

(1) 書類選考

それぞれの出願書類において次の項目を評価する。

① 私の信仰経歴

- ・ 召命の確かさ
- ・ 礼拝生活および教会生活
- ・ 自らの召命感のとらえ方

② 所属教会推薦書

- ・ 召命の確かさ
- ・ 礼拝生活および教会での交わりや奉仕

(2) 筆記試験:小論文

与えられたテーマ*について自身の考えをまとめ、平易に、かつ正確で論理的な文章を書く。字数は800~1,000字、試験時間は60分。評価項目は次の通り。

- ・ 基礎学力を有しているか
- ・ 時間内に、所定の分量の明晰な文章を書いているか
- ・ 日本語を使いこなす能力を有し、論理性・具体性・独創性(オリジナリティー)があるか
- ・ 漢字や仮名、原稿用紙を正しく使っているか

*テーマについては「11. 筆記試験(小論文)」を参照。

(3) 面接試験(口頭試問)

教授会メンバー全員(10名程度)との15分の個別面接。主な諮問内容は次の通り。

- ・ 召命の確認
- ・ 信仰生活および信仰理解
- ・ 神学の学びへの志等

編入学者選抜

1. 出願資格

次の(1)および(2)に該当する者。ただし、留学生等は(1)(2)および(3)に該当する者。

(1) 福音主義(プロテスタント)の教会に属し、洗礼(バプテスマ)を受けた後1年以上教会生活をしている者で、所属教会の推薦がある者。

(2) 次のいずれかに該当する者。

- ① 他の大学(外国の大学を含む)を卒業した者、または2023年3月卒業見込の者。
- ② 短期大学(外国の短期大学を含む)卒業した者、または2023年3月卒業見込の者。
- ③ 他の大学(外国の大学を含む)または短期大学(外国の短期大学を含む)に2年以上在籍し(休学期間を除く)、56単位以上修得または2023年3月修得見込で、本学の課程を履修するのに支障がないと認められた者。
- ④ 高等専門学校を卒業した者、または2023年3月卒業見込の者。
- ⑤ 専修学校の専門課程のうち文部科学大臣の定める基準(修業年限が2年以上で、かつ課程の修了に必要な総授業時数が1,700単位時間以上あること)を満たす課程を修了した者、または2023年3月修了見込の者。
- ⑥ 高等学校、中等教育学校の後期課程および特別支援学校の高等部の専攻科のうち、修業年限が2年以上であり、文部科学大臣が定める基準を満たすものを修了した者、または2023年3月修了見込の者(ただし、学校教育法第90条ならびに学校教育法施行規則第150条及び第154条に規定する大学入学資格を有する者に限る)。

* 上記以外であっても、次のいずれかに該当する者は、出願できる可能性がある。該当者は、出願前に必ず本学に問い合わせること。ただし、編・転入学許可学年は、出願資格となる大学等の単位修得状況および編入学者選抜の結果によって決定する。

- ・他の大学(外国の大学を含む)または短期大学(外国の短期大学を含む)に1年以上在籍し(休学期間を除く)、30単位以上修得した者(2023年3月をもって1年以上在籍し、30単位以上修得見込の者を含む)で、本学の課程を履修するのに支障がないと認められた者。
- ・高等専門学校4年次を修了した者。
- ・外国の高等専門学校を卒業した者、または2023年3月卒業見込の者。もしくは外国の高等専門学校を退学したもの、または2023年3月退学見込の者。

(3) <留学生等※>日本語能力に関して、次のいずれかに該当する者。

- ① 公益財団法人日本国際教育支援協会、独立行政法人国際交流基金主催の日本語能力試験のN1または1級合格者。
- ② 公益財団法人日本国際教育支援協会、独立行政法人国際交流基金主催の日本語能力試験のN1の2022年度受験者。
- ③ 学校教育法に定められている高等学校、中等教育学校、高等専門学校、専修学校高等課程、専修学校専門課程、短期大学または大学に在籍している者、あるいは在籍していた者。

※出願資格について不明な点は、出願前に本学に問い合わせること。

2. 募集定員

11月選抜	2月選抜	3月選抜
5名	10名	3名

3. 試験日

11月選抜	2月選抜	3月選抜
2022年11月23日(水・祝)	2023年2月14日(火)	2023年3月7日(火)

※新型コロナウイルス感染症等による理由で試験当日やむを得ず欠席した場合は、振替試験・追試験申請手を完了し、本学が認めた場合に限り、振替試験・追試験を受験することができる。詳細は受験票と共に通知する。

振替試験および追試験予定日

11月選抜の振替試験日	2月選抜の振替試験日	3月選抜の追試験日
2023年2月14日(火)	2023年3月7日(火)	2023年3月14日(火)

ただし、新型コロナウイルス感染状況等によって変更する場合がある。

4. 試験会場

東京神学大学 (東京都三鷹市大沢3-10-30)

5. 選考方法

志願者について、本学のアドミッション・ポリシーに基づき、評価する。具体的には、出願書類(成績証明書)と筆記試験により基礎学力を、面接と出願書類(私の信仰経歴、所属教会推薦書)により召命感、意欲、表現力、適性等をそれぞれ評価し、選抜する。

(1) 書類選考

それぞれの出願書類において次の項目を評価する。

① 私の信仰経歴

- ・ 召命の確かさ
- ・ 礼拝生活および教会生活
- ・ 自らの召命感のとらえ方

② 所属教会推薦書

- ・ 召命の確かさ
- ・ 礼拝生活および教会での交わりや奉仕

(2) 筆記試験:小論文

与えられたテーマ*について自身の考えをまとめ、平易に、かつ正確で論理的な文章を書く。字数は800~1,000字、試験時間は60分。評価項目は次の通り。

- ・ 基礎学力を有しているか
- ・ 時間内に、所定の分量の明晰な文章を書いているか
- ・ 日本語を使いこなす能力を有し、論理性・具体性・独創性(オリジナリティー)があるか
- ・ 漢字や仮名、原稿用紙を正しく使っているか

*テーマについては「11. 筆記試験(小論文)」を参照。

(3) 面接試験(口頭試問)

教授会メンバー全員(10名程度)との15分の個別面接。主な諮問内容は次の通り。

- ・ 召命の確認
- ・ 信仰生活および信仰理解
- ・ 神学の学びへの志等

一般選抜・編入学者選抜 共通事項

1. 出願手続

志願者は次の期間中に入学検定料を納入し、出願書類を本学所定の出願用封筒により簡易書留速達で提出すること。

	11月選抜	2月選抜	3月選抜
	編入学者選抜	一般選抜・編入学者選抜	
入学検定料納入 および出願期間 (消印有効)	2022年10月18日(火) ～10月25日(火)	2023年1月10日(火) ～1月17日(火)	2023年1月27日(金) ～2月3日(金)

(1) 入学検定料

① 入学検定料

26,000円

② 納入方法

本学所定の振込用紙に必要事項を記入のうえ、入学検定料納入期間中に、日本国内の金融機関窓口(郵便局・ゆうちょ銀行を除く)から納入すること。

(2) 出願書類

① 一般選抜・編入学者選抜願書

- ・ 太枠内は表面・裏面とも漏れなく記入し、該当項目を○印で囲むこと。細枠内は記入しない。
- ・ 氏名は戸籍やパスポート等と同一の表記にすること。
- ・ 年齢は2023年4月1日時点の満年齢を記入すること。
- ・ 証明写真(縦5cm×横4cm。出願より3ヶ月以内に撮影し、正面、無帽、背景無地のもの。スナップ写真不可)を貼付すること。
- ・ 表面に年月日を記入し、自署すること。

② 一般選抜・編入学者選抜願書 付表2

- ・ 太枠内に氏名を記入すること。
- ・ 家庭状況
同居および帰省先の家族について、差し支えない範囲で記入すること。
- ・ 語学関係検定資格取得状況
実用英語技能検定、TOEIC、日本語能力試験等、語学に関する検定試験有資格者のみ資格取得状況を記入し、資格や検定試験の結果を証明する書類のコピーを同封すること。
※付表2への記載内容は合否に一切関係しない。

③ 私の信仰経歴

- ・ 次の点について考えや思いをよく整理し、1,200字程度にまとめて、黒または青色のペンを用いて書くこと。
*なぜ教会に通うようになり受洗に導かれたのか。
*キリスト者として教会生活を送る中で、どのような人たちと出会い、信仰の交わりをしてきたか。
*どのように召命を確信し、東京神学大学への入学・編入を志望するようになったのか。

④ 所属教会推薦書

- ・ 「所属教会推薦書作成についてのお願い」に推薦書提出用封筒を添えて、所属教会の牧師に作成を依頼すること。
- ・ 推薦書は厳封のまま出願用封筒に同封して提出すること。

⑤ 写真票

- ・ 入学検定料納入後「振込金通知書A票(入学検定料・学校提出用)」を所定欄に貼付すること。
- ・ 証明写真(縦5cm×横4cm。出願より3ヶ月以内に撮影し、正面、無帽、背景無地のもの。スナップ写真不可)を貼付すること。
- ・ 選抜区分・受験番号欄は記入せず、氏名のみを記入すること。

⑥ 受験票および宛名

- ・ 受験票は、願書受理通知および入学検定料受領書を兼ねる。
- ・ 受験票の選抜区分・志望区分・受験番号の欄は記入せず、氏名のみを記入すること。
- ・ 宛名は、本学からの連絡・通知の際に使用するため、郵便物が確実に届くよう丁寧に記入すること。

⑦ 東京神学大学入学後の生活調査

- ・ 入学後に見込まれる生活状況について、差し支えない範囲で記入すること。
- ※生活調査への記載内容は合否に一切関係しない。

⑧ 受験票返信用封筒

- ・ 簡易書留速達 664 円分の切手を貼付すること。
- ・ 表面に受験票の送付先住所・郵便番号・氏名を明記すること。

⑨ 成績証明書

- ・ 出願資格となる学校の成績証明書（和文または英文）の原本を厳封で提出すること。
- ・ 高等学校卒業（見込）者は調査書を提出すること。
- ・ 成績等の保存期間が経過しているために調査書や成績証明書が発行されない場合は、その旨を記した証明書の発行を出願資格校となる学校に依頼し、提出すること。

⑩ 卒業（見込）証明書、修了（見込）証明書、退学証明書、在籍期間証明書または在学証明書

- ・ 出願資格となる学校の卒業（見込）証明書、修了（見込）証明書、退学証明書、在籍期間証明書または在学証明書（いずれも和文または英文）の原本を厳封で提出すること。

⑪ <留学生等> 日本語能力等が出願資格を満たすことを証明する書類

- ・ 出願資格(3)①該当者は、「日本語能力認定書」もしくは「日本語能力試験合否結果通知書」のコピーを提出すること。
- ・ 出願資格(3)②該当者は、2022年度日本語能力試験の受験票のコピーを提出すること。
- ・ 出願資格(3)③該当者は、上記出願書類の⑨および⑩を提出すればよい。

(3) 出願上の注意

- ① 出願書類等を記入する際は、黒または青色のペンで記入すること。鉛筆・シャープペンシル・フリクション等の消せるペンは使用不可。
- ② 訂正箇所は、二重線を引き訂正印を押すこと。修正液・修正テープ等は使用不可。
- ③ 出願期間を過ぎて提出された出願書類は、一切受け付けない。
- ④ 納入された入学検定料および提出された出願書類は、理由の如何を問わず返還しない。
- ⑤ 虚偽の書類が提出された場合、あるいは提出書類に虚偽の記載があった場合には、受験を取り消す。また、合格後に虚偽の記載あるいは虚偽の書類の提出が判明した場合においても入学許可を取り消す。

2. 受験票

受験票は簡易書留速達で発送する。その際、試験当日のプログラムを同封する。

	11月選抜	2月選抜	3月選抜
受験票発送日	2022年11月10日（木）	2023年2月3日（金）	2023年2月17日（金）

注意事項

- ① 日本郵便による不在連絡票を受け取った場合は速やかに対応し、受験票を確実に受け取る
- ② 受験票が未着の場合は、次の期限までに教務課へ連絡すること。

	11月選抜	2月選抜	3月選抜
未着の連絡期限	2022年11月16日（水）	2023年2月8日（水）	2023年2月24日（金）

- ③ 受験票を紛失した場合は、速やかに教務課に申し出ること。
- ④ 試験当日は受験票を必ず持参し、常に携帯すること。

3. 試験当日

(1) 受付

午前 8 時 40 分～50 分の間に本人確認等を行なう。

(2) 礼拝

試験に先立って礼拝が行なわれるので、聖書・讃美歌を持参することが望ましい。
本学では新共同訳聖書と 1954 年版讃美歌 I・II 編を用いている。

(3) 筆記試験

鉛筆・消しゴム等の筆記用具を持参すること。
辞書は一切使用不可。留学生の母国語関係の辞書も使用不可。

(4) 面接

控室で待機し、監督者の指示に従うこと。

(5) 注意事項

- ① 事故等でやむを得ず遅刻する時は、教務課に電話連絡し指示を受けること。連絡できずに遅れて到着した時は、まず教務課で指示を受けること。
- ② 受験生は、全ての試験科目を受験しなければならない。
- ③ 携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・イヤフォン等の使用を禁止する。礼拝開始前にアラームの設定を解除し、電源を切りカバン等にしまっておくこと。
- ④ 試験中に体調が悪くなった場合は、監督者に申し出ること。
- ⑤ 学生食堂等がないので、試験当日のプログラムによっては昼食持参が望ましい。
- ⑥ 付き添い者の控室はなく、受験生以外は建物や敷地の中に入ることはできない。

4. 合格者発表

(1) 方法

合格者発表は掲示および通知の送付により行なう。

① 合格者掲示

次の発表日時から翌日正午まで、合格者の氏名を本学掲示板に発表する。

② 合否通知書等送付

合格者には合格通知証および入学手続き書類を、不合格者には不合格通知を、発表日に書留速達にて発送する。その際、出願時提出の「宛名」を使用する。

	11月選抜	2月選抜	3月選抜
合格者発表日	2022年11月25日(金)	2023年2月17日(金)	2023年3月9日(木)
	午前11時		

(2) 注意事項

- ① 合否通知等の窓口での直接交付は行なわない。
- ② 合否に関する電話等による問い合わせには、一切応じない。

5. 入学手続

入学手続に関する詳細は合格者に書面で通知する。

(1) 入学金

合格者は入学金を入学金納入締切日までに納めること。

	11月選抜	2月選抜	3月選抜
入学金	290,000円		
入学金 納入締切日	2022年12月9日(金)	2023年3月3日(金)	2023年3月16日(木)

(2) 提出書類

合格者は次の書類を入学手続書類提出締切日必着で提出すること。

- ① 新入時学籍情報
- ② 保証書
- ③ 住民票の写し（提出日より3ヶ月以内に発行されたもの）
- ④ 教会生活に関する調査

	11月選抜	2月選抜	3月選抜
入学手続書類 提出締切日(必着)	2022年12月9日(金)	2023年3月3日(金)	2023年3月16日(木)

(3) 注意事項

- ① 一度納入された入学金および提出された書類は、理由の如何を問わず返還しない。
- ② 締切日までに、入学金納入と入学手続書類提出がない場合は、入学辞退とみなす。
- ③ 入学手続を完了した後、やむを得ない理由により入学を辞退する場合は、速やかに申し出ること。2023年3月31日(金)までに文書にて入学辞退届を提出し、本学が認めた場合に限り、入学金を除く学生納付金（授業料・施設費）から振込手数料を差し引いた金額を返還する。なお、入学辞退の理由が正当性を欠く場合、および2023年3月31日(金)までに届け出がない場合は、学生納付金（授業料・施設費）を返還しない。
- ④ 出願時に出願資格となる学校に在籍中であつた者は、2023年4月4日(火)入学式までに、次の書類の原本（和文または英文）を厳封で提出すること。
 - ・ 最終学期の成績が含まれている調査書または成績証明書
 - ・ 卒業証明書、修了証明書、退学証明書、または在籍期間証明書
- ⑤ 出願時に日本語能力試験の受験票のコピーを提出した留学生等は、2023年4月4日(火)入学式までに、日本語能力試験N1の「日本語能力認定書」もしくは「日本語能力試験合格結果通知書」のコピーを提出すること。
- ⑥ 学校教育法に定められた大学、短期大学、大学院、高等専門学校、専修学校の専門課程、高等学校（中等教育学校の後期課程および特別支援学校の高等部を含む）の専攻科に正科生として在籍している者は、在籍校の卒業・退学日が本学への入学および編・転入学日より前になるようにし、二重学籍の期間が生じないよう十分に留意すること。

6. 初年度学生納付金

授業料・施設費納入に関する詳細は合格者に書面で通知する。

初年度納入金		納入額		納入締切日
		1年次入学者	3年次編入学者	
入学金 (a)		290,000 円		11月選抜 2022年12月9日(金)
				2月選抜 2023年3月3日(金)
				3月選抜 2023年3月16日(木)
学費 *1	授業料 <年額> *2	540,000 円		2023年4月6日(木)
	施設費 <入学時のみ>	240,000 円		
学費合計 (b)		780,000 円		
諸費 *3	神学会費 <年額> *4	3,300 円		入学後に通知
	学生教育研究災害傷害保険料 *5	2,650 円	1,400 円	
	コピーテキスト代 <年額>	1,000 円		
諸費合計 (c)		6,950 円	5,700 円	
初年度納入金合計 (a) + (b) + (c)		1,076,950 円	1,075,700 円	

- 次年度以降は授業料・神学会費・コピーテキスト代を納入する。

*1 学費

入学金と同時に授業料・施設費の全額を納入しても差し支えない。

*2 授業料

授業料は学期ごとに分納することができる。その場合の納入額と納入締切日は次の通り。

- ・前期分 270,000 円：2023年4月6日(木)
- ・後期分 270,000 円：2023年10月13日(金)

*3 諸費

諸費は2022年度実績。2023年度の納入額は入学後の通知を参照のこと。

*4 神学会

神学会は、神学研究誌『神学』の刊行や講演会の開催等、東京神学大学の神学活動を行っている。本学の専任教員および学生は全員加入し、その会員となることが「東京神学大学神学会会則」により定められている。会員は、毎年度会費を納入することで当該年度の『神学』の配布を受けたり、神学会主催の講演会等に参加したりすることができる。

*5 学生教育研究災害傷害保険

学生教育研究災害傷害保険とは、大学における学生の教育研究活動中（通学中を含む）に被った災害に対し、公益財団法人日本国際教育支援協会が窓口となった全国的な補償制度である。本学学生は、入学および編・転入学と同時に全員加入する。保険内容は、入学後に配付される『学生教育研究災害傷害保険加入者のしおり』にて確認すること。

7. 入学時奨学金

(1) 趣旨

入学時奨学金は、本学の建学の精神に則り、教会担任教師・教務教師・その他それに準ずる職務に就く献身の意志が明確である者の学びを奨励するためのものである。

(2) 受給資格

本学入学および編・転入学にあたり、当該奨学金受給者として本学教授会の認めた者。

(3) 申請方法

合格通知証および入学手続書類と共に、当該奨学金についての案内・申請書を送付する。希望者は締切日までに、申請書等の必要書類を奨学金委員会宛に提出すること。

	11月選抜	2月選抜	3月選抜
申請書提出締切日 (必着)	2022年12月9日(金)	2023年3月3日(金)	2023年3月16日(木)

(4) 決定通知

受給可否については、決定通知書を送付する。

	11月選抜	2月選抜	3月選抜
決定通知書発送日	2022年12月16日(金)	2023年3月10日(金)	2023年3月24日(金)

8. 英語実力試験

新入生・新編入生は、入学後に英語実力試験を受けるものとする。該当者には、合格通知証および入学手続書類と共に詳細を通知する。ただし、出願書類の「入学・編入学願書付表2」にある語学関係検定資格取得状況欄の記載内容および当該証明書に基づき、試験が免除される場合がある。

9. 入学前教育

合格者には入学前教育として、「入学に備える読書のすすめ」を合格通知証および入学手続書類と共に送付する。さらに、神学校生活のため、次のような準備をすることが望ましい。

- ① 聖書を読み、祈る習慣を身につけること。
- ② キリスト教入門書等を読み、基本の教えを確認すること。
- ③ 世界史の概要を見直し、神学の各分野の学びに備えること。

10. 受験時および入学後に配慮が必要な場合

東京神学大学では、障がい等の事由で受験時や入学後に配慮が必要な場合、個々の状況に応じた合理的な配慮を行なっている。配慮を希望する者は、次の手順により、申請すること。

(1) 手順

- ① 出願前に教務課入試係に書面もしくは電話で面談を申し込む。2022年9月30日（金）までに面談を終えられるよう日程に余裕を持つこと。
- ② 所属教会牧師または代理者の同席のもと、本学入試担当教員と面談し、障がい等の状況・教会生活の状況・希望する配慮等について確認する。
- ③ 面談の内容について本学が検討したこと、また、受験時および入学後に提供できる合理的配慮について書面で受け取る。
- ④ 上記③に同封される「配慮願い出書」（本学所定）および「障害者手帳」（障がいの種類と等級記載のページ）のコピーまたは医師の診断書を、出願書類と共に出願期間内に提出する。

(2) 注意事項

- ① 合格した場合には、入学手続完了後、修学上の具体的な配慮について改めて確認する。
 - ② 出願後、不慮の事故等により同様に配慮を希望するに至った場合も、速やかに申し出ること。
- ※提出書類は希望する配慮について確認するためのものであり、合否に一切関係しない。

11. 筆記試験（小論文）

(1) 出題の意図

一律の解答を求めるのではなく、どのようなテーマに対しても自分の考えを日本語で論理的に説明することができるかどうかを評価することを意図して出題している。

(2) 過去の出題

		入学者選抜	編入学者選抜
2022年度	11月	—	「レットル」
	2月	「希望」	「教会と病」
	3月	「社会の分断」	「人を助ける」
2021年度	11月	—	「宗教と教育」
	2月	「タラント」	「努力することとゆだねること」
	3月	「家族」	「社会の変化」
2020年度	11月	—	「自己責任」
	2月	「弱さ」	「奇跡と信仰」
	3月	「親と子」	「主観的な見方と客観的な見方」
2019年度	11月	—	「苦しみの意味」
	2月	「怒り」	「ボランティア活動の意義」
	3月	「人間関係について」	「見えるものと見えないもの」
2018年度	11月	—	「平和」
	2月	「民主主義」	「社会における従順」
	3月	「キリスト者の自由」	「天災」

12. 単位認定

- (1) 編・転入学許可学年次は、試験結果および出身大学等の単位修得状況によって決定し、合格者発表時に通知する。
- (2) 3年次編・転入学の場合、出身大学等で修得した単位については、次に記載する本学の科目に相当するものとして、原則として52～56単位を一括認定する。

◆学際基礎科目：計26単位

○人文科学系（8単位）

哲学思想史
キリスト教と世界史
キリスト教と文学1 世界文学
キリスト教と文学2 日本文学
キリスト教と芸術1 美術史
キリスト教と芸術2 音楽史
心理学

○社会科学系（8単位）

社会史
法と人権1 法学概論
法と人権2 日本国憲法
宗教と社会1 デモクラシーと政治
宗教と社会2 ウェーバーとトレルチ
ドイツの歴史と教会

○自然科学系（8単位）

精神医学とキリスト教
現代の自然観
生命の理解とバイオエシックス
保健衛生
化学入門

○情報科学系（2単位）

情報基礎

◆神学基礎科目A：計10単位

キリスト教通論Ⅰ
キリスト教通論Ⅱ
聖書通論1 旧約通論
聖書通論2 旧約時代史
聖書通論3 新約通論・歴史

◆現代語科目：計16単位

英語ⅠA
英語ⅠB
ドイツ語ⅠA（基礎）
ドイツ語ⅠB（コミュニケーション）
英語基礎
日本語基礎
英語Ⅱ
英語実践Ⅰ
英語実践Ⅱ
ドイツ語Ⅱ

◆保健体育科目：計4単位

体育Ⅰ
体育Ⅱ

合計 56単位

【問い合わせ】

東京神学大学 教務課入試係

〒181-0015

東京都三鷹市大沢 3-10-30

Tel:0422-32-4185

Fax:0422-33-0667

Mail:tuts@tuts.ac.jp

<https://www.tuts.ac.jp>

